

科目名	都市防災論	英語科目名	Urban Disaster Prevention	
開講年度・学期	平成 26 年度・前期	対象学科・専攻・学年	専攻科建築学コース	
授業形態	講義	必修 or 選択	選択	
単位数	2単位	単位種類	学修単位 15+30h	
担当教員	横内 基	居室(もしくは所属)	建築学科棟3階	
電話	0285-20-2837	E-mail	yokouchi@yama-ct.ac.jp	
授業の到達目標	授業到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準	
	①都市防災、建築防災対策を実施するうえで、考慮しなければならない事項を説明できる。	④	DO	b
	②建築物の耐震診断・耐震補強、都市の地震被害想定、都市防災計画、防災教育の手法について説明できる。	④	D	d(2-c)
③地域の防災リーダーとして必要な知識を説明できる。	①	D	b	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
達成目標①～③: 定期試験, および必要に応じて出題した課題によって評価する。				
評価方法				
達成目標①～③: 期末試験による点数を 70%, 課題を 30%で評価する。				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目	自学自習時間		
1. ガイダンス	東日本大震災、阪神淡路大震災で起こったこと整理	4		
2. 近年の自然災害	講義内容の復習及び課題のレポート作成	4		
3. 自然災害のしくみと被害、対策	〃	4		
4. 自然災害のしくみと被害、対策	〃	4		
5. 耐震診断と補強	〃	4		
6. 災害とライフライン、交通インフラ、災害医療	〃	4		
7. 行政の災害対応、避難と避難所運営	〃	4		
8. 災害復旧と支援制度、災害とボランティア活動	〃	4		
9. 緊急救助技術	〃	4		
10. 訓練と防災研修	〃	4		
11. 災害情報と災害報道	〃	4		
12. 公的機関による予警報 被害想定・ハザードマップと避難行動	〃	4		
13. 都市防災の特徴 災害と危機管理	〃	4		
14. 企業防災と事業継続計画 災害と損害保険	〃	4		
15. 地域の再建と復興	〃	4		
期末試験		自学自習時間合計	60	
キーワード	自助、共助、公助、互助、防災・減災			
教科書	日本防災士機構: 防災士教本			
参考書	梶秀樹, 塚越功著「都市防災学」学芸出版社			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	建築耐震構造			
現学年の関連科目	まちづくり論、地域設計1・2、鉄筋コンクリート構造論、鋼・合成構造論			
次年度以降の関連科目	建築耐震設計論			
連絡事項				
・講義を中心に授業を進めるが、必要に応じてフィールドワークも実施する。				
シラバス作成年月日	平成 26 年 2 月 28 日			